

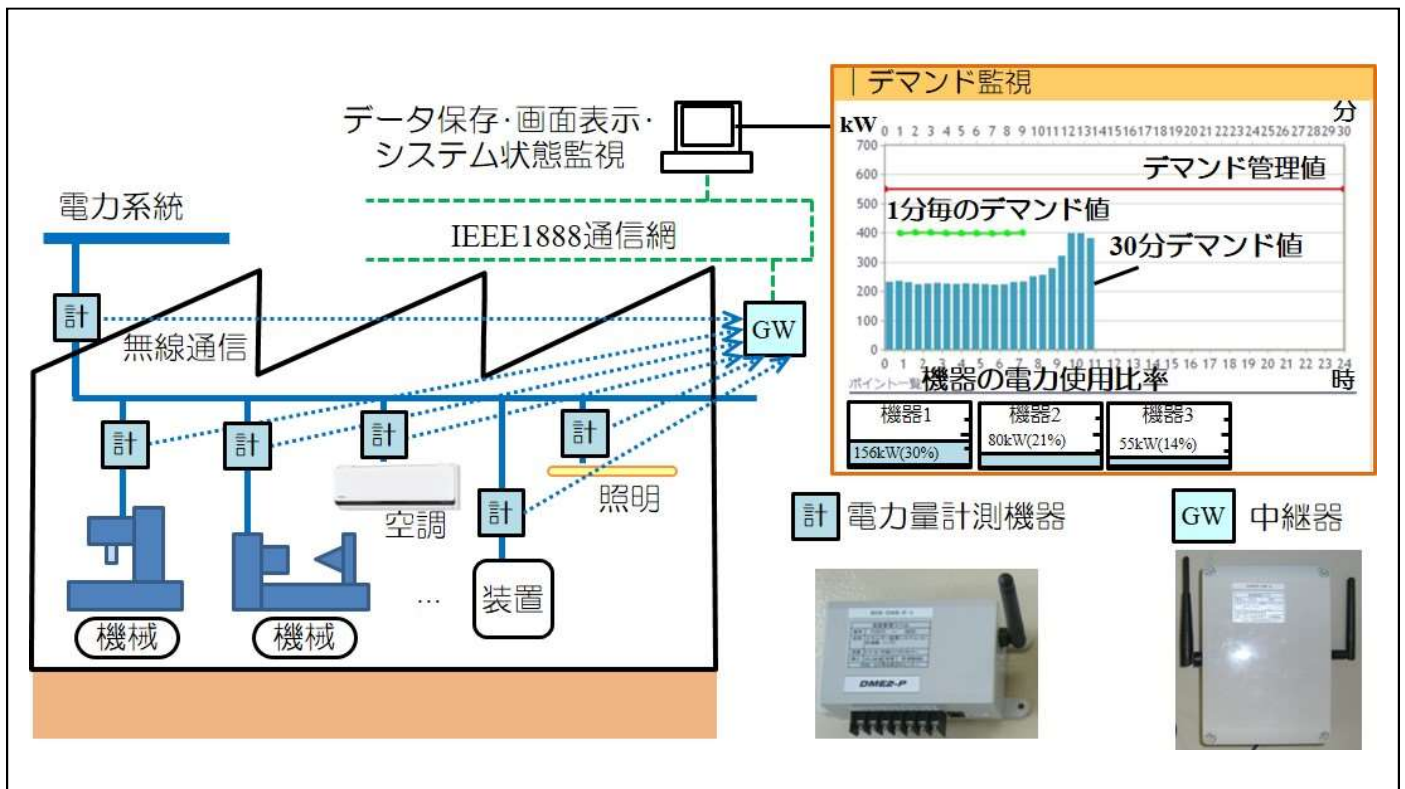
エネルギー監視システムの開発

■研究の概要

スマートファクトリー分科会では、中小企業工場を対象に、地域資源（エネルギー、環境・エネルギー技術・製品、ものづくり技術）を有効に活用して、エネルギーを最適供給する次世代低炭素が他工場（以下、スマートファクトリー）モデルの提案とそのモデルに必要な技術要素を開拓することを目指しています。最も重要な技術要素の一つとして、エネルギーの「見える化」に着目し、県内複数企業との連携によりエネルギー監視システムを開発しました。

■研究の項目

- ①既存システムの調査及び課題の抽出
- ②開発の方向性の検討
- ③試作開発の実施、動作確認及び計測値評価



■研究の成果

- ①インターネットが活用できる国際標準の通信規格を採用し、システムの拡張性、互換性に優れ、中小規模の施設まで対象にできる低コストなエネルギー監視システムが開発できました。
- ②計測器、中継器及びエネルギー監視システムが商品化されました（2015年7月）。